

哲風会通信



2019 10 VOL94

令和初の10月を迎え田畑の実が美味しい季節になりました。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、行楽の秋、皆様はどの「秋」がお好みですか？厳しかった夏が過ぎ去り、行動的になりそうですね。

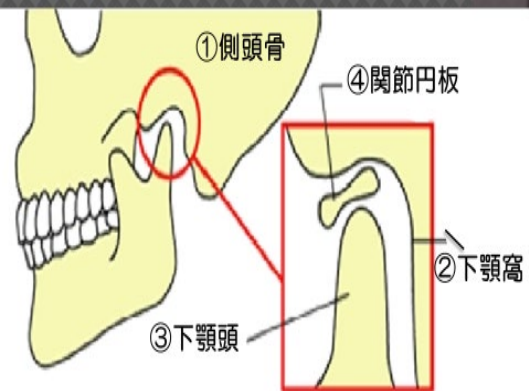
～顎関節症～

顎が痛い、カクカクする、コキコキと音がするなど、顎関節にこのような症状を感じたことはありませんか？テレビや新聞などで取り上げられるようになり最近はインターネットですぐに調べられるため、ご存じの方は多いと思います。

顎関節とは？

両耳の前に指を当てて口を大きく開け閉めた時に動く部分で①側頭骨にある②下顎窩というくぼみに③下顎頭が入り込む構造で、その間のクッションの役割をする④関節円板という組織があり下顎窩と下顎頭が直接こすり合わないようになっています。正常な場合では関節円板が下顎頭と一緒に移動するようになっています。顎関節に問題がある場合、筋痛、関節痛、雑音があり単独で症状を表すこともありますが、多くの場合複合し顎関節症と診断され場合によっては開口不能となることもあります。

顎関節の構造



～発症の要因～

- ・ 不良な噛み合わせの状態
- ・ 精神的ストレス（緊張や不安、気分の落ち込みの持続）
- ・ 頬杖などの日常生活での癖
- ・ 歯ぎしりや食いしばり

・歯列接触癖のような口腔習癖 などがあり、
これらが複合し各個人の適応能力を超えると顎関節症の症状が現れます。

ストレス社会と言われる現代、そのストレスが引き金となって疾患を発症することも少なくありません。顎関節症もまた精神的ストレスが間接的要因となって症状を現したり、増悪することがあり、顎関節に何らかの症状を訴える人は増加しているのではないのでしょうか。

冒頭で述べた症状がある場合、またははっきりしなくとも、「顎」の近辺にいつもと違う症状が現れた時は、歯科医院を受診し、歯科医師に相談しましょう。治療方針はもちろんのこと、注意点なども教えてくれますよ！

レントゲンで顎の構造も見せてもらえるかもしれません。



今月の担当

ちづ歯科クリニックの菅生です。今年の6月から勤務しています。歯科医療に携わって約30年になります。4年程前「左側顎関節症」と診断された経験者です。原因は食いしぼり、歯ぎしりと言われました。治療法は、スプリント（マウスピースのような歯列に被せるプラスチック装置）を作ってもらい、就寝時に使用していました。1か月位は毎日使用して、自然に痛みがとれました。現在は、朝起きた時たまに痛みがでることがあり、そんな時は未だに使っています。始めは口の中に？と抵抗がありましたが、ソフトタイプのスプリントで、匂いもないため、問題なく使えてよく眠れました。気のせいかな肩こりが軽減した気がします。



使っているスプリント

医療法人 哲風会
むさしデンタルオフィス

〒010-0912
秋田市保戸野通町4-8
TEL : 018-853-8214
フリーアクセス : 0800-800-8461

医療法人 哲風会
ちづ歯科クリニック

〒018-1605
南秋田郡八郎潟町川崎字昼寝
233-1
TEL 018-875-2801